

令和2年4月27日

福井市議会議長
堀川 秀樹殿

福井市議会 一真会
奥島光晴
田中義乃
泉和弥

議会運営に関する要望事項

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、福井市議会も会議等の開催が見合わされ、議会事務局から送付される感染症対策本部会議の資料により、本市の対応を見るのみとなっています。市民の声をその都度関係各部署に問い合わせる事もありますが、今日の福井市議会は、住民の代表機関として、また二元代表制の一翼を担うものとして役割と責任を果たしているのだろうかと思う日々です。つきましては、今後検討すべき事項について下記のように要望、提唱します。

記

- 1・新型コロナウイルス感染症が収束をみても、福井市は大幅な税収減が見込まれ、かつての豪雪以上の厳しい財政運営を強いられ、今後様々な場面での大幅な経費削減が必要となると考えます。また多くの市民、事業者が生計の維持に切迫した状況にあるなか市民の一員である議員も率先して経費の削減に取り組むべきと考えます。つきましては今年度の議員報酬等の取り扱いについて6月定例会までに議論を進めることを要望します。
- 2・今回の事案では福井市保健所職員をはじめ福祉保健部局、市職員全体が最前線で感染拡大防止に取り組んでいる事に対し、市議会として賛辞と慰労のメッセージを発信すること。
- 3・今回の新型コロナウイルス感染拡大や近年多発する集中豪雨、大地震などの大規模災害を鑑み、議会として市民の安全確保と生活支援、災害復旧に向け迅速かつ適切な運営が行えるよう議会・議員の役割や行動方針を定めた業務継続計画（BCP）策定を要望します。
- 4・WEB会議を含めた議会ICT事業を推進するための研修、検討を進め、議会運営の効率化やペーパーレス化等にも取り組むことを提唱します。

以上